
社会人基礎力・成長度調査報告

2023年8月 IR室



学校法人 昌賢学園

群馬医療福祉大学 | 短期大学部

Gunma University of Health and Welfare
/ Two-year college Course

「仁」～思いやりで未来を創る大学～

目的

経産省が主催した有識者会議にて、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を「社会人基礎力」として定義している。「社会人基礎力」は、1)アクション(主体性・働きかけ・実行力)、2)シンキング(課題発見力・計画力・想像力)、3)チームワーク(発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール)における3つの能力と12の能力要素で構成されている。

本学においては、“**ボランティア活動**”、“**環境美化活動**”、“**大学理念の浸透**”などの特色のある教育を実践しており、この教育は、「社会人基礎力」の強化につながるものと考え、その特色を行動面で確認できるような評価方法を開発し、可視化する目的で本調査を実施し行った。

対象

本学生1年生～4年生

調査実施期間：2021年度 2022年度

年度末オリエンテーション 2月中旬

方法

群馬医療福祉大学・短期大学部1～4年生に対して、本学独自で作成した社会人基礎力に関する調査項目に関して、調査の目的及び調査項目の回答方法について説明を行い、当大学のwebシステムを利用し、調査項目の回答を依頼し、回答を以て意思を確認する。

分析項目

- 学年進行による学生の成長度確認(2021年度・2022年度)
- 身につけている能力(本学生の強み、弱み)の確認

社会人基礎力 評価作成 概要①

「社会人基礎力」における3つの能力と12の能力要素：

- 1)アクション(主体性・働きかけ・実行力)、
- 2)シンキング(課題発見力・計画力・想像力)、
- 3)チームワーク(発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール)。

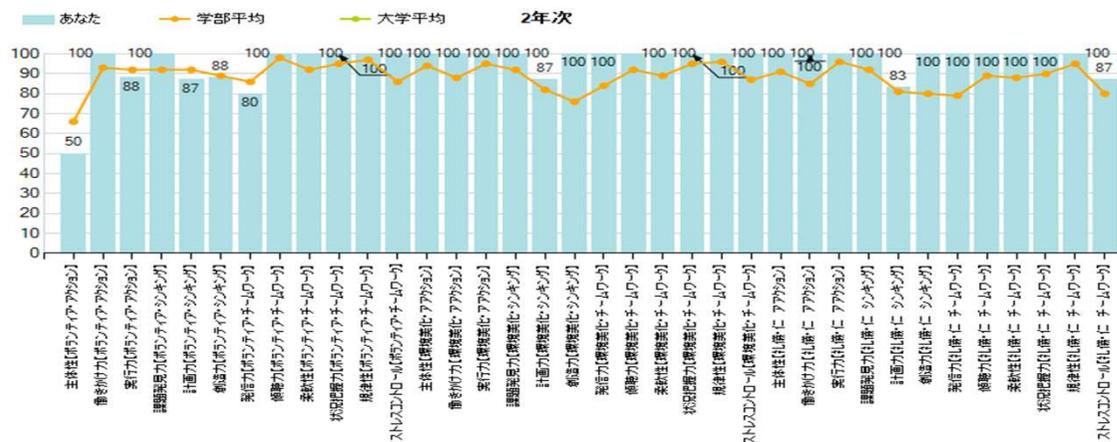
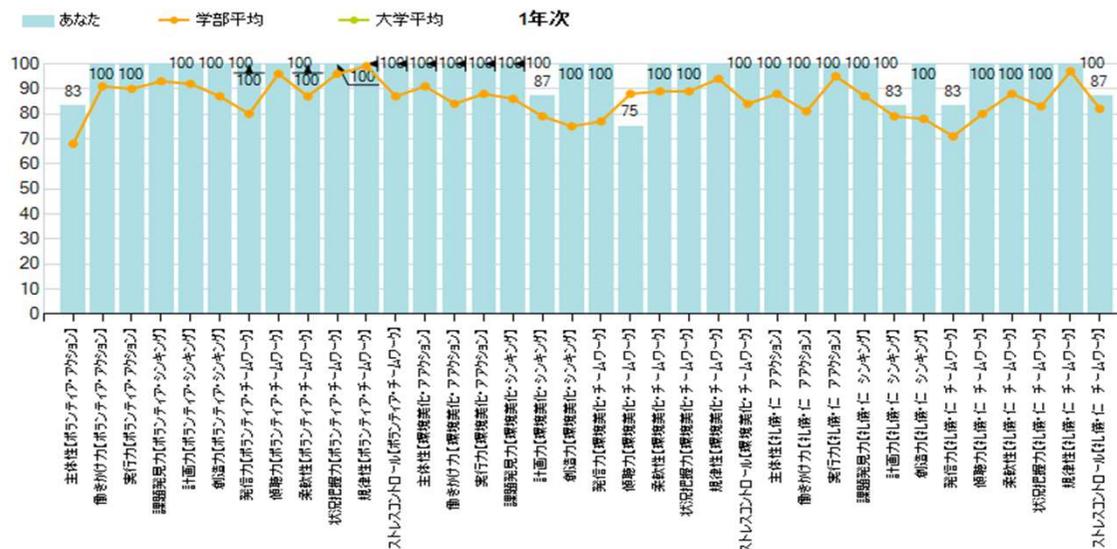
専門教育においても、この「社会人基礎力」が専門性を発揮する基盤となり、質の高い専門職を育てることにつながると考える。

一方、この社会人基礎力を評価する手法は確立されていない。そのため、当大学の「社会人基礎力」の強化の取り組みである“**ボランティア活動**”、“**環境美化活動**”、“**大学理念の浸透**”などの特徴を行動面で確認（可視化）できる評価方法を2020年度から実施。

社会人基礎力 評価作成 概要②

3つの能力	12の能力要素	能力要素概要
前に踏み出す力 (アクション) 一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力	主体性	物事に進んで取り組む力
	働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力
	実行力	目的を設定し確実に行動する力
考え抜く力 (シンキング) 疑問を持ち、考え抜く力	課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
	創造力	新しい価値を生み出す力
チームで働く力 (チームワーク) 多様な人々とともに、目標に向けて協力する力	発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力
	柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力
	状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
	規律性	社会のルールや人との約束を守る力
	ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力

- (1) ボランティア
 アクション：主体性(6項目)、働きかけ力(9項目)、実行力(9項目)の計24項目
 シンキング：課題発見力(7項目)、計画力(8項目)、創造力(9項目)の計24項目
 チームワーク：発信力(10項目)、傾聴力(7項目)、柔軟性(6項目)、状況把握力(7項目)、規律性(5項目)、ストレスコントロール(5項目)の計40項目
- (2) 環境美化
 アクション：主体性(7項目)、働きかけ力(7項目)、実行力(7項目)の計21項目
 シンキング：課題発見力(6項目)、計画力(8項目)、創造力(4項目)の計18項目
 チームワーク：発信力(4項目)、傾聴力(4項目)、柔軟性(4項目)、状況把握力(4項目)、規律性(4項目)、ストレスコントロール(4項目)の計24項目
- (3) 礼儀・仁
 アクション：主体性(7項目)、働きかけ力(6項目)、実行力(8項目)の計21項目
 シンキング：課題発見力(5項目)、計画力(6項目)、創造力(6項目)の計17項目
 チームワーク：発信力(6項目)、傾聴力(5項目)、柔軟性(7項目)、状況把握力(4項目)、規律性(7項目)、ストレスコントロール(8項目)の計38項目



社会人基礎力レポート

	1年次	学部平均	大学平均	2年次	学部平均	大学平均	
ボランティア	主体性	83	68	50	66		
	働きかけ力	100	91	100	93		
	実行力	100	90	88	92		
	課題発見力	100	93	100	92		
	計画力	100	92	87	92		
	創造力	100	87	88	89		
	発信力	100	80	80	86		
	傾聴力	100	96	100	98		
	柔軟性	100	87	100	92		
	状況把握力	100	96	100	95		
	規律性	100	99	100	97		
	ストレスコントロール	100	87	100	86		
	環境美化	主体性	100	91	100	94	
		働きかけ力	100	84	100	88	
実行力		100	88	100	95		
課題発見力		100	86	100	92		
計画力		87	79	87	82		
創造力		100	75	100	76		
発信力	100	77	100	84			
傾聴力	75	88	100	92			

全学生による地域貢献・ボランティア活動
 ×
 現場に強い医療・福祉・教育人材育成

ボランティア活動に関する意識変化・成長度

		社会福祉学部		看護学部		リハビリ学部		医療技術学部		短期大学部	
		2021年度	2022年度								
ボランティア	主体性	63.3	64.0	69.7	64.7	70.7	67.3	62.0	63.0	59.0	65.0
	働きかけ力	90.0	90.3	92.3	94.0	92.3	93.0	91.0	93.0	80.0	90.0
	実行力	88.0	89.0	91.0	88.7	92.0	89.3	86.0	88.5	84.0	91.0
	課題発見力	88.3	91.3	91.0	95.7	91.3	94.3	87.0	95.5	71.0	97.0
	計画力	88.0	86.3	92.0	93.3	90.7	88.0	91.0	93.0	75.0	91.0
	創造力	82.7	82.7	87.7	85.7	87.7	87.7	88.0	84.0	73.0	76.0
	発信力	78.3	78.0	84.0	85.7	86.3	84.0	74.0	77.0	64.0	77.0
	傾聴力	95.7	94.7	97.3	91.3	97.0	87.0	97.0	97.5	91.0	92.0
	柔軟性	93.3	96.0	95.3	96.3	94.3	94.7	93.0	95.0	83.0	91.0
	状況把握力	93.0	93.7	96.0	94.7	96.3	93.3	93.0	96.5	83.0	92.0
	規律性	95.0	94.0	98.3	95.3	97.0	97.0	97.0	98.0	95.0	98.0
	ストレスコントロール	83.3	86.0	92.3	87.0	89.7	87.3	87.0	87.5	88.0	84.0
平均		86.6	87.2	90.6	89.4	90.4	88.6	87.2	89.0	78.8	87.0

社会福祉学部、短期大学部では概ね学生自身の成長実感が得られた結果が出ている。コロナ禍において様々な活動が自粛となったが、**コロナ禍でもできる活動（資料配付や動画を配信等）を工夫して自治体や地域と連携して発信できた**ことが成長実感に繋がったと考えられる。さらに社会福祉学部ではサービスマーケティングの効果が大きい言えよう。看護学部ではコロナ禍の影響を受け、活動の制限による影響を大きく受けた結果と考えられる。どの学部においても**課題発見力が向上**している。学生の現状分析と問題対処能力が身につけてきたと言える。

環境美化活動に意識変化・成長度

		社会福祉学部		看護学部		リハビリ学部		医療技術学部		短期大学部	
		2021年度	2022年度								
環境美化	主体性	90.3	91.0	94.7	93.3	94.7	94.0	92.0	95.0	85.0	92.0
	働きかけ力	84.3	82.3	89.7	84.7	90.3	86.0	82.0	82.0	84.0	88.0
	実行力	90.0	87.7	94.0	91.7	94.3	90.7	90.0	92.0	84.0	89.0
	課題発見力	91.7	91.0	93.0	93.3	92.0	90.0	90.0	93.0	78.0	87.0
	計画力	81.3	77.7	82.7	80.3	83.0	77.3	80.0	77.5	80.0	72.0
	創造力	70.0	75.0	79.3	76.0	73.7	68.7	73.0	78.5	67.0	73.0
	発信力	80.0	85.3	87.7	86.0	87.0	86.0	70.0	84.0	80.0	80.0
	傾聴力	87.7	89.0	90.3	91.0	91.3	92.0	91.0	93.5	78.0	80.0
	柔軟性	87.3	89.7	92.3	91.3	89.7	90.7	91.0	91.5	87.0	92.0
	状況把握力	90.0	92.3	97.0	96.3	94.7	92.7	92.0	95.5	83.0	92.0
	規律性	91.7	93.3	98.3	97.3	96.7	92.3	93.0	95.5	89.0	88.0
	ストレスコントロール	80.7	74.0	88.7	86.7	88.0	68.0	87.0	67.5	78.0	78.0
平均	85.4	85.7	90.6	89.0	89.6	85.7	85.9	87.1	81.1	84.3	

医療技術学部・短期大学部では概ね学生自身の成長実感が得られた結果が出ている。計画力（手順、効率）、地域における環境モラルの啓発、ごみの削減、支援の計画などの項目については前年度と比較するとポイントを落としている。SDG'Sの観点からは非常に重要項目となるため学生への意識づけが必要と考える。

大学理念の浸透に関する意識変化・成長度

		社会福祉学部		看護学部		リハビリ学部		医療技術学部		短期大学部	
		2021年度	2022年度								
礼儀・ 仁の精神	主体性	90.3	89.7	94.7	96.3	93.0	92.3	88.0	92.5	86.0	92.0
	働きかけ力	80.0	83.0	88.7	93.3	87.0	85.3	73.0	88.0	85.0	82.0
	実行力	93.3	95.0	97.0	97.7	96.3	95.7	92.0	96.0	91.0	94.0
	課題発見力	87.3	83.0	91.7	85.7	91.0	83.0	88.0	82.0	87.0	82.0
	計画力	77.3	91.3	81.7	93.7	81.0	93.7	73.0	91.5	76.0	92.0
	創造力	78.0	72.7	82.0	78.3	80.7	70.0	69.0	75.0	74.0	72.0
	発信力	77.3	70.7	77.7	80.0	79.0	79.3	68.0	75.0	70.0	72.0
	傾聴力	81.7	81.7	91.3	92.7	87.3	77.7	81.0	86.0	87.0	76.0
	柔軟性	85.7	83.7	90.3	87.0	89.3	84.7	82.0	86.5	90.0	86.0
	状況把握力	84.7	82.3	88.3	88.3	89.3	91.0	85.0	86.5	78.0	76.0
	規律性	92.0	90.7	97.7	94	95.7	91.7	94.0	94.0	88.0	89.0
	ストレスコントロール	78.0	77	86.0	83	82.3	78.3	80.0	79.0	81.0	78.0
平均	83.8	83.4	88.9	89.2	87.7	85.2	81.1	86.0	82.8	82.6	

ほとんどの学部で前年度平均と比較して礼儀・挨拶等の大学理念の重要性について**成長実感が得られた回答となった**。「身だしなみや受講態度について気づきくこと」「地域の高齢者や障がい者にとっての生活課題に関心を持ち、課題をあげることができる」が評価項目の**課題発見力**では全体的にポイントを落としている。**実行力**においてはどの学部も95%近くであり、**真心を持って行動し善いことを行いで示す、この教育理念が学生に浸透している結果である**。

本学生の強み・弱み

		社会福祉学部		看護学部		リハビリ学部		医療技術学部		短期大学部		平均	
		2021年度	2022年度										
総合	主体性	81.3	81.6	86.3	84.8	86.1	84.6	80.7	83.5	76.7	83.0	82.2	83.5
	働きかけ力	84.8	85.2	90.2	90.7	89.9	88.1	82.0	87.7	83.0	86.7	86.0	87.7
	実行力	90.4	90.6	94.0	92.7	94.2	91.9	89.3	92.2	86.3	91.3	90.9	91.7
	課題発見力	89.1	88.4	91.9	91.6	91.4	89.1	88.3	90.2	78.7	88.7	87.9	89.6
	計画力	82.2	85.1	85.4	89.1	84.9	86.3	81.3	87.3	77.0	85.0	82.2	86.6
	創造力	76.9	76.8	83.0	80.0	80.7	75.4	76.7	79.2	71.3	73.7	77.7	77.0
	発信力	78.6	78.0	83.1	83.9	84.1	83.1	70.7	78.7	71.3	76.3	77.6	80.0
	傾聴力	88.3	88.4	93.0	91.7	91.9	85.6	89.7	92.3	85.3	82.7	89.6	88.1
	柔軟性	88.8	89.8	92.7	91.6	91.1	90.0	88.7	91.0	86.7	89.7	89.6	90.4
	状況把握力	89.2	89.4	93.8	93.1	93.4	92.3	90.0	92.8	81.3	86.7	89.6	90.9
	規律性	92.9	92.7	98.1	95.6	96.4	93.7	94.7	95.8	90.7	91.7	94.6	93.9
	ストレスコントロール	80.7	79.0	89.0	85.6	86.7	77.9	84.7	78.0	82.3	80.0	84.7	80.1
												86.0	86.6

2021年度・2022年度（2月実施）調査から“ボランティア活動”、“環境美化活動”、“大学理念”の浸透のそれぞれの項目ごとに平均値を抽出し、さらに4学部1学科の平均を出したグラフである。実行力と規律性が90%以上を超えて、2022年度はさらに柔軟性と状況把握力が90%以上を超えた。発信力は80%に向上し、創造力は前年度に引き続き80%以下となった。

まとめ

- **本学生の強み**・・・医療福祉従事者として決められたルールを守り、基本的態度などの実践を行うことができる。さらに相手の気持ちをくみ取り、必要に応じた対応が取れる**実行力や規律性**に富んでいる。

意見の違いや立場の違いを理解し、周囲に気を配りながら自分とは違った意見を積極的に理解しようとする姿勢や多くの人と協力しながら仕事をするチームワークなどの**柔軟性や状況把握力**に長けている。

- **本学生の弱み**・・・何事につけ、新しいこと、未経験のことは苦手であり自分の意見を通したり伝えたりすること、また意見の結論を明確にし、論理的に相手に伝えようとする**創造力・発信力**が乏しいと感じている学生が多数いる。

ストレスの原因に働きかけたり、取り除いたりストレス発散を行ってストレスと上手く付き合っていくことができる**ストレスコントロール**が得意ではない。その傾向は下級生ほど高い。